

ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信



市民の声を、私たちが市政へ届けます

後藤ゆう子

かとう涼子



後藤ゆう子の 9月議会一般質問から

◎保谷駅・ひばりヶ丘駅周辺に 期日前投票所を

投票率が低下する中、不在者投票・期日前投票の割合は増えています。現在、田無庁舎と保谷庁舎で行えますが、保谷庁舎は取り壊しが予定されています。新たな期日前投票所に駅前投票所を要望しましたが、セキュリティ対策等に課題があるとのこと。しかし有権者の利便性を高めることで、投票率の向上が期待できます。

買い物や通勤のついでに投票できるよう、ひばりヶ丘駅や保谷駅周辺での不在者投票・期日前投票の実現を、粘り強く要望してまいります。

◎高校進学の夢をあきらめさせない支援を

大手学習塾に委託した中3対象の無料夏期学習が10日間開催されました。応募した生徒は誰でも指導を受けられます。一方、昨年実施のひとり親世帯の実態調査では、無料の学習支援を望む回答が70%を超えていました。支援の対象を明確にした上で、専門家による年間を通じた学習支援を要望しました。支援のあり方や、財源に課題があるとの答弁ですが、自立し安定した生活を送るために高校進学は重要です。貧困の連鎖を断ち切るため、学習支援の早期実施を求めています。



かとう涼子の 9月議会一般質問から

◎不登校の生徒へ、適切な進路指導を！

不登校の子どもにとって、中学卒業後の進路は大きな不安であり、新たな環境での学び直しのチャンスでもあります。しかし学校からの情報提供は十分とは言えません。「学校訪問や研修で教育委員会が得た情報を各中学校に提供していく」との回答を得ましたが、チャレンジ校、通信制など多様な進路選択の可能性があることを、より早い段階で伝えていくことが重要です。

学校ごとの対応の差をなくし、見通しを持った進路選択ができるよう、引き続き求めていきます。

◎はなバスを補完する移動手段の確保を！

生活者ネットは、高齢化社会の移動支援について調査提案活動を続けており、7月に公共交通空白地域の南町2丁目で聞き取り調査を実施しました。その結果、買い物や日々の生活に不便はあるものの、はなバスに代わる移動手段が具体的にイメージできないことが分かりました。

多くの市民が使いたいと思える移動手段は巡回小型バス？デマンドタクシー？効果的な手法を見極めるため、市に対し、該当地域での住民懇談会の開催と、国の補助金等を活用したモデル運行の早期実施を求めました。

衆議院選挙

生活者ネットワークは立憲民主党を支持しました——

私たちは、多様な人びとの声に耳を傾ける地域政党をめざしてきました。排除の論理と自己責任の強まる社会を、支えあいの社会へと変えていくために、そしてなにより、日本を再び戦争のできる国にしないために、衆議院選挙では、立憲主義に基づき「草の根の生活からの政治」をつくると宣言した立憲民主党を応援しました。安倍政治と小池代表の独裁的な政治を認めるわけにはいきません。これからも私たちができること一つひとつに、全力で取り組んでまいります。(10/17筆)